兵庫山岳

昭和43年7月12日第三種郵便物認可

平成26年8月1日（金）
第566号　（毎月1日発行）

発行所　兵庫県山岳連盟
神戸市灘区王子町2丁目王子公園内
電話・FAX（078）801・3267

定価1部　50円年間購読料1000円
兵庫県山岳連盟会員は会費に購読料を含む
©編集兼発行人　伊藤一雄

平成26年度日山協遭対委員会総会

技術遭対委員長　一本松　文夫

本年度の総会は六月二十八、二十九日の二日間、神奈川県で開催された。二十八日は研修会で、まず丹沢山系の遭難の現状と問題点と題した神奈川県松田警察署山岳救助隊長の講演。険しい谷が多い丹沢では滑落遭難が多く救助隊の出動も多い。また計画書を出さないで遭難した登山者の捜索活動が如何に大変か苦労話を聞き、兵庫でも計画書を出して登山するように常に呼びかける努力を続けて行かなければと実感した。

次に新位置探査機ヒトココについて、メーカーからの説明。従来のビーコンに比べて長所は、とにかく軽い、探知距離がかなり長い、電池が長持ち、多数の発信を識別して探知できる、比較的安価。短所は、雪崩遭難救助の際、遭難者をピンポイントで短時間に特定しなければならない時、従来のビーコンほどピンポイントで特定できない点がある。しかし従来のビーコンの使用方法とは違う場面での活躍が期待出来そうである。遭対委員会としては、一度試してみたい探査機なので、貸出して貰えるよう働きかけていくつもりです。

二十九日の総会は神崎日山協会長から公益社団法人として「安全登山の啓発」「山の環境保全」「山岳文化の発展」に寄与するため、四つのワーキンググループで検討された事項、すなわち「安全登山普及事業」、「競技会運営事業」、「登山研究調査事業」、「共益事業」の推進を図って行くとの熱意の籠った挨拶があった。

続いて西内登山部長から「安全登山普及事業」の活動として、(1)青少年育成事業、(2)登山に関する文化、学術の振興事業、(3)安全登山の啓発事業、(4)登山指導者育成事業を行っていく事業計画が提出された。

そのあと研究討議に入り、九月に谷川岳で開催が決まった日中韓登山技術交流研修会についての計画発表、山岳事故報告、ロープ強度試験報告、登山部の改革についての経過報告、広島岳連から名越氏の捜索活動報告、SAR活動報告、UIAA報告等があった。

平成26年度日山協指導委員会総会

指導委員長　西嶋　常泰

6月7日（土）8日（日）に日本山岳協会の指導員総会並びに研修会が、東京・晴海・海員会館で開催されました。

7日には研修会が実施され

Ⅰ．公認指導員等の登録・義務研修等について最近決まったことが報告された。

(1)主任検定員の有効期間が切れた後の、3年間以内に養成講習を受講・受験した場合は、更新とみなす。

(2)日体協の指導により義務研修会の申請はWeb告知・Webでの募集はしない。

(3)更新のための義務研修を実施する場合は、名称を研修会にする。講習会では、講師でなければ更新の対象とならない。

(4)養成講習では、指導員受講申し込み時に、NHK学園のスポーツリーダー受講中の方は、修了見込証明書をNHK学園に請求しもらってください。

Ⅱ．安全登山実践講座に関して、未組織登山者・中高年登山者による遭難事故の増加に鑑みて、「実践講座」を開催し講習会修了者に「リーダーとしての資格」を日山協が付与しようとするものである。

カリキュラムとしては、机上講習4時間、実技講習8時間とする。講習会費・受験料を含め今後煮詰めていく必要がある。

Ⅲ．氷雪技術に関する指導員の教育と研修では、「スタンディング・アックス・ビレイの最新技術」と題してビレイ時のピッケルの刺し方、足の置き方等の研修があった。

8日の指導員総会は、25年度の事業報告、26年度の事業計画が報告され承認された。

登攀研修・主任検定員養成は、26年度は岡山県、27年度は、山形県に開催要請している。氷雪技術研修・主任検定員養成講習は、例年通り西日本地区では大山（鳥取県）、富士山（静岡県）を予定している。SC指導員養成講習は兵庫県、福井県、大分県で実施予定。

日体協公認スポーツ指導者等の表彰で日山協から西原競技委員長他が推薦予定です。

登山計画書は必ず提出しよう！

お食事・各種ご宴会に　Gourmet Promenade グルメプロムナード SINCE 1997 IN KOBE　各線三宮駅すぐ神戸交通センタービル

10F 日本各地から取り寄せた旨い物と名酒に出会える レストラン&BAR
燦 DYNAMIC KITCHEN & BAR SUN TEL.078-331-1233

9F 備長炭の本格炭火焼き 厳選されたこだわりの素材をご堪能下さい 炭火焼 博多水炊き
IPPO TEL.078-325-1235

9F 大正6年創業の名門料亭の味わいを 日本料理
matsunoya 1917 松通家 TEL.078-333-0678

9F 本格イタリアンから選べるコースをカジュアルに イタリア料理
Papa Milano TRATTORIA TEL.078-331-1122

9F 特選黒毛和牛をふんだんに神戸の夜景を眺めながら あぶり工房
あぶり工房 アビルカ TEL.078-331-2929

2F ていねいに抽出したコーヒーが自慢のカフェテラス 喫茶
UCC Café Plaza TEL.078-391-4057

http://www.kotsu-center-bldg.com

ザック造りに想いをこめて②

星加弘之

毎週の山行きに合宿、年間通じてよく行ってたものです。

先輩に付いて岳連の行事にもよく行きました。

但馬山系（第9回全日本登山大会Fコースリーダー付（S40．3・13～16）

知床半島（第11回全日本登山大会S42．8・7～12）

木曽駒沢登り（兵岳連20周年行事集中登山）、

一端の“山や”になったかな？なんて少し天狗になり掛けた頃に滑落なんかもして、自重したこともありました。

歩きの山、徳本峠越えから穂高、槍なんかも計画し、途中奥穂高で下山した事もありました。

その頃からクラブの装備係をするようになり、トモミツ縫工に良く通うようになりました。（S40年頃）

山の本も好きでした。特に『風雪のヴィバーク』松涛明、『単独行』加藤文太郎、『たった一人の山』松浦佐美太郎、『北壁』原　武遺稿、『穂高星夜』山崎安治、『星と嵐』ガストンレビュファー、『白いクモ』ハインリッヒハラー、『山靴の音』芳野満彦、『八千米の上と下』ヘルマンプール等々……。古本屋さんをよく回りました。アルプも好きでした。

そうこうしている間に又冬の合宿の偵察山行があり参加。西穂高～奥穂高の縦走だ。

秋10月末から11月初旬上高地から入山し、西穂の小屋に荷揚げの荷物を預けて奥穂高に向かうが秋の事、陽が短くロバの耳辺りで日没、テントを張り緊張の一晩を過ごしました。翌日頂上から白出沢を降り、新穂高から槍見温泉まで頑張って歩き露天風呂で乾杯。これが過ぎたのか神戸に帰って異変が起き、何と体調が悪化。急性胃潰瘍で約2ヵ月入院をしました。

でも春には復帰し、痔病で入院をしていたI君と御在所岳と鎌が岳で遊んでました。

42年夏から奥又、谷川岳、知床、大雪、雪彦山連続登攀、石鎚山沢と北壁登攀、小豆島、木曽駒冬合宿、氷ノ山、御在所クラブ合同トレ、但馬山系、雪彦、峰山、氷ノ山、鉢伏等々。

お世話になった川重を3月末で退職し、その間に友光さんから誘われていた件を実行に移す事にしました（43年3月）。

その年の4月から、東灘区にあるトモミツ縫工で働き始めました。甲南本通りを南に下り、小児医院の隣、二階建ての小じんまりした一階部分が作業場で、友光社長と番頭さんのTさん・縫製とその他を取り仕切っていた女性のYさん・ミシン掛けの女性が二名、Yさんの弟が事務をされ、途中から娘さんのK子さんもミシン掛けにこられていました。社長から皆さんに紹介して頂き、その日からTさんの横であぐらをかいてキスリングの革部品を取り付ける手縫いの練習、兼作業の開始でした。

二寸八分の麻裏針を使い、太いロウ挽きの糸を右手にそぐわない硬いパームと言う革製の針当をつけて、八号帆布のキスリングの生地に負けないように力を込めて革部品を縫い付ける。原始的？でも、これが一番丈夫だなと納得しました。職場の皆さんは社長の事を大将と呼んでいました．大将は、私が年を取っているから一々教えない、自分で見て覚えろと言われ、番頭さんが横で笑っていました。

でっかい会社を辞めてまでよう来たな～、なんても言っていまして、若干興味津々だったんかも知れません。

私も三年頑張って仕事を覚えようと思い、毎日手縫い、作業の段取りを眺め、次の工程は？と思いながら作業しました。Tさん　Yさんの指導の下で覚えてきたようで、少しずつ余裕がでてきて話の中に入れるようになりました。

近くの広場でテントの試し張りを手伝いに行ったり、冬テントのフレーム出し入れ部の改造を提案し、それを採用してもらったのが嬉しかった。

お客さんの中には作業場に変わったヤツが居るから、と聞きこんで来てくれるようになりました。その中の一人が神戸山岳会のO君でした。

私にいきなり、黒部の丸山東壁登りにいかへんかと言ってくれました。職域のクラブ合宿の帰り自由行動を認めてもらい、単独で真砂沢から黒四ダムに下山した時に見た丸山東壁、現実になると思いました。しかしその頃の山岳会は規律が厳しく、同行したければ入会しなさい、と言われ伝統ある山岳会に入会し、又山登りを再開しました。しかし五月の連休は暦通りで休みが三日しか無く、入山下山で各一日、行動一日で可能な処と言えば左岩稜。皆と遅れて入山、大ハングを登った皆と合流し、翌日にブッシュ混じりの長い壁を登り、残雪の丸山頂上に立ちました。同会のN兄弟とも仲良くしてもらい毎週のように山に通っていました。（神戸ザック店主）

トモミツ縫工に転職・黒部丸山東壁へ挑戦

立山・雷鳥沢を登る

便利で大変リーズナブルな多目的貸し会場
阪急王子公園駅から わずか徒歩3分
緑の中のミーティングルーム
王子サロン（神戸登山研修所）
神戸市灘区王子町2-2-1 王子公園内(競技場北側)
TEL・FAX(078)-801-3267　htt://www.hma.jp/

登山・アウトドアの専門店
好日山荘 SINCE 1924 & CLIMBING GYM GRAVITY RESEARCH KOBE
神戸本店 TEL：078-265-2045
GRAVITY RESEARCH KOBE TEL：078-855-8043
川西店 TEL：078-954-8006
明石大久保店 TEL：078-938-2010
イオンタウン姫路店 TEL：078-938-2010

平成二十六年度
近畿地区自然保護連絡協議会

五月二十四日、本年度の近畿地区自然保護連絡協議会が神戸登山研修所で開催され、各府県山岳連盟から二十名の自然保護委員の出席があった。兵庫県山岳連盟から松田副会長、吉野自然保護委員長ら六名が出席した。会は午後一時から始められ、主催県の開会歓迎挨拶に続き、各府県から年間自然保護活動報告があり、次いで、自然保護活動の課題と将来展望についての協議に入った。

和歌山県からは、紀州備長炭の里を訪ねて、ウバメガシを含めた森林保護の解説があった。

京都府からは、アユモドキの生育保護や、比良山系八雲ヶ原の環境保護の必要性についての説明があった。

奈良県からは、西大台ヶ原の利用調整で、一日当たりの利用人員制限や利用調整区域の設定、さらに東大台に携帯トイレブースの設置の必要性が話し合われているなどが紹介された。

兵庫県からは、月例で開催している「自然観察山歩」でゴミ拾いや植生保護など自然保護の実際を進めていること、或いは六甲山系で「兵庫岳連の森」を造成養生し、植樹や観察路づくりを実践しているとの説明があった。

協議はここで一旦終了、次いで観察会を行った。

テーマ「都市域における緑地の役割について考える」とし当登山研修所の周辺数カ所をご案内し、観察していただき議論を深めて頂いた。

終わりに当たって、予定していた懇親会を開き、実りある会議を終えることができた。なお、二十七年度近畿地区の自然保護連絡協議会は奈良県で開催される予定である。

（松田安修）

日帰り沢登り教室　比良・明王谷

六月二十九日（日）、比良明王谷での沢登り教室に参加した。出発前、人生初の沢登りということもあって、夏場でも寒いのだろうか、足首までしか川に浸からないのだろうか、はたまた川で泳ぐこともあるのだろうか…と少しの不安と期待に胸が膨らんだ。受講者は私たちを含め六名で、お見受けするところ沢登り経験豊富な方ばかり。これは初心者向けではなかったのかもしれないと、一抹の不安を抱えていると、「若者よ、よく来たな」と言わんばかりに講師の方々に笑顔で迎えられ一安心した。装備一式を貸与して頂き、いざ明王谷へ。

沢に踏み込んだ一歩目、想像以上の水の冷たさと、透き通る水のきれいさに驚いた。この水が琵琶湖に入り近畿住民の飲み水になっているかと思うと、地球の偉大さ、森の水の浄化作用の偉大さを感じた。そんなこと考えていると、沢をガサガサ歩いていたのが、川を荒さないように…とそっと歩くようになっていた。

滑らない岩の歩き方、ロープワークを学びながら、様々な滝場を乗り越えていく。小滝に差し掛かったところでスリル満点の壁を登り、懸垂下降！「自己ビレーしているから落ちないよ、大丈夫！」と言われたものの、何分初めてのことなので、装備の力を信用しきれず、のそのそとびくびくしながら下降する。懸垂下降時、足を踏み外し、宙づりになって初めて装備の有難味に気付いた。難所を乗り越えると穏やかな沢となり、周りの景色を楽しむ余裕が生まれた。川にさす木漏れ陽、水の滴る苔、せせらぎの音、全てが神秘的で美しかった。純粋に、もっと多くの人にこの景色を生で見てほしいと思った。

近年、登山ブームとは言われているものの、二〇代の人に山や沢で会う機会は少ない。きっと、危険そう、装備を持っていないからというのが主な理由だろう。今回お世話になった兵庫県山岳連盟ではこのような素敵な機会を準備してくれている。多くの人が利用して、自然の美しさを実感して欲しいと思った。

切川　菜央

比良・明王谷を遡行

神戸登山研修所
休館日のお知らせ

8月11日(月)～18日(月)
夏期休館日と致します。
休館中の緊急連絡先は
電話078－987－5828
古賀理事長宅
8月19日（火）から通常通り開館いたします。

貴重な自然を守るために
私たちが胸ときめかせる喜びと感動を受けた大切な自然を末永く伝えるためと爽快感と充実感のある山登りを神戸ザックは応援します
オリジナルザック ＆ 登山用品専門店
神戸ザック TEL (078) 621－5851 FAX (078) 621－3528
http://www.h2.dion.ne.jp/~kobezac
OUTDOOR SPORTS SHOP IMOCK KOBE
神戸市長田区日吉町3丁目1番30号 〒653-0039 カナゾノビル2F

世界の山旅・辺境の旅　カタログご請求ください
お一人参加でも安心のパッケージツアーから、お仲間で企画するオーダーメイドツアーまで。お気軽にご相談ください。
国土交通大臣登録旅行業第490号／㈳日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員
アルパインツアーサービス株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル4階 ☎03-3503-1911
大阪☎06-6444-3033　名古屋☎052-581-3211　福岡☎092-715-1557
e-mail:info@alpine-tour.com　http://www.alpine-tour.com

美しい自然、大切な自然を子孫に伝えよう

平成26年度 六甲全山縦走大会実施要項

究極の「歩くスポーツの祭典」六甲全山縦走大会は今年で第四十回を数える。

参加者も神戸市民や兵庫県民は言うまでもなく、全国各地から山歩き大好きの仲間が集い、親善交流大会に発展してきている。

今年度の大会は昨年と同様インターネット申し込み、または葉書申し込みとし、定員オーバーの時は抽選方式とする。

かねてより要望があったグループ参加申し込み方式を取り入ることにより、仲間とともに歩いていただくことも可能になった。

主な内容は次の通り。

実施日：十一月九日（日）及び二十四日（月・休日）

定　員：各日とも二千人

参加料：三千円及び手数料（二百円又は五百円）

申込受付期間：八月十八日（月）～二十五日（月）

＊二回開催のうち、どちらか一回のみの申し込みで、重複申し込みはできない。

グループ申し込みの方法

三名までのグループ申し込み可能。但し、申し込み手続きは各人必要。

問い合わせ先

JTBスポーツステーションKOBE六甲全山縦走大会事務局　電話〇六―六二六七―五一六三　FAX〇六―六二六〇―四三五九

申込み先

インターネット申し込みの場合、事前にJTBスポーツステーションへ会員登録が必要。（https：//jtbsports.jp）

受付期間中に参加申し込みが必須。

なお、葉書申し込みの場合は大阪市中央区久太郎町二・一二五JTBビル七階　株式会社JTB西日本スポーツ・MICEセンターKOBE六甲全山縦走大会事務局宛

必要記入事項

＊参加希望日　＊参加者氏名　＊フリガナ　＊性別　＊年齢　＊生年月日　＊郵便番号　＊住所　＊自宅電話番号　＊携帯電話番号　＊血液型　＊血圧（最高・最低）＊参加回数　＊当日緊急連絡先　＊区分（市内在住・在学・在勤・以外）＊参加同意署名　＊個人参加かグループ参加か　＊同じグループの方の氏名、を記入し申し込んで下さい。

みんなで歩こう　緑の山を！ 神戸市民山の会のお知らせ

第794回例会

背山の初秋を愛でるコース　約8㎞　一般向け

▽開催日　8月17日（日）

▽集合　諏訪山公園　午前9時

▽コース　諏訪山公園～大師道～大竜寺～西六甲縦走路～鍋蓋北尾根～弘法大師修法の池～再度公園～蛇ヶ谷～市ケ原～布引貯水池～みはらし台～新神戸駅

▽担当　布引山の三宅久雄、石田順久、吉野宏、北西正則、岩崎孝、藤井良子の各氏

予告　普及委員会

「裏六甲に涼を求めて」 有馬の滝めぐり

開催日：8月24日（日）

集　合：神鉄有馬温泉駅　午前9時

コース：紅葉谷道～白石滝～百開滝～似位滝～七曲滝～有馬温泉（約6㎞）14：30頃解散

普及委員会からのお知らせ

第56回六甲合同登山の開催日を左記のように変更いたします。

変更後開催日：11月2日（日）

詳細は兵庫山岳9月号にてお知らせいたします。

第25回記念・生誕127年 藤木祭

日　時：9月28日（日）午後1時から

場　所：芦屋・高座の滝前

開会の言葉：兵庫県山岳連盟顧問　森川　列

主催者挨拶：兵庫県山岳連盟会長　中西研一

来賓挨拶：芦屋市長　山中健

藤木祭記念ハイキング

日　時：9月28日（日）午前9時

集合場所：阪急岡本駅北側桜守公園

コース：桜守公園～岡本八幡宮～保久良神社～金鳥山～はぶ谷分岐～パロラマ道～横池～風吹岩～高座の滝

八月の行事予定

▽3日　六甲沢登り　裏六甲

▽6日　常任理事会

▽5・19日　リード・マルチピッチクライミング講習

▽24日　クライミング教室　実技　保塁岩

▽24日　有馬の滝めぐり

【編集者のツブヤ記】

▽今年四月から日本山岳協会の加盟団体として高体連登山専門部が加わった。四十八番目の山岳団体で、高校生の選手登録も六千名を超えることとなった。誠に力強いことである。

▽先般開催された兵庫県山の遭難対策協議会で、昨年十一月から本年五月にかけて県内の山の遭難発生状況が公表された。発生件数は六十一件で、その内六甲山系は約半数の三十件。特に、山の関係者が注目するのは「道迷い」で十七件もある。道路標識や山道の案内標識がないところ、あっても道案内の案内がいるところなど様々であり、実態は寂しい限りである。せめて県下の山々で迷いやすいところを明示し、私どもの手で道案内の標識を作りたいものである。（松田安修）

世界一の標高、世界一の眺め、世界一の思い出。
EVEREST VIEW ホテル・エベレスト・ビュー（標高3,880m）へ！
航空券　ホテル　トレッキング　パッケージツアー
ヒマラヤ観光開発　大阪支店
マウンテントラベル　MOUNTAIN TRAVEL
ホームページもご覧下さい。http://www.himalaya-kanko.co.jp/
大阪／〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4-500 大阪駅前第4ビル5階3号
●パンフレットご請求 ●お問い合わせは　フリーダイヤル 0120-777802

SINCE 1975
mont·bell
アウトドア用品は、お近くの「モンベルストア」へ。
神戸北店 078-983-3337　六甲店 078-811-9555
神戸三宮店 078-327-5455　姫路フォーラス店 079-287-1021
マリンピア神戸店 078-708-1170　ALBi大阪駅店 06-6346-7544
www.montbell.jp